

平成 30 年度上半期のごみ処理実績について

1 ごみ排出量 (H29 年度上半期との比較)

区分	H29 年度実績 A	H30 年度実績 B	対前年増減(B-A)	増減率
<b>焼却ごみ</b>	<b>57,922 t</b>	<b>56,141 t</b>	<b>△1,781 t</b>	<b>△3.1 %</b>
収集	38,518 t	37,222 t	△1,296 t	△3.4 %
搬入	19,404 t	18,919 t	△485 t	△2.5 %
<b>埋立ごみ</b>	<b>721 t</b>	<b>662 t</b>	<b>△59 t</b>	<b>△8.2 %</b>
収集	607 t	549 t	△58 t	△9.6 %
搬入	114 t	113 t	△1 t	△0.9 %
<b>資源ごみ</b>	<b>5,368 t</b>	<b>5,027 t</b>	<b>△341 t</b>	<b>△6.4 %</b>
収集	5,158 t	4,803 t	△355 t	△6.9 %
搬入	210 t	224 t	14 t	6.7 %
<b>古紙類</b>	<b>4,410 t</b>	<b>3,808 t</b>	<b>△602 t</b>	<b>△13.65 %</b>
<b>総排出量</b>	<b>68,421 t</b>	<b>65,638 t</b>	<b>△2,783 t</b>	<b>△4.1 %</b>
収集	44,283 t	42,574 t	△1,710 t	△3.9 %
搬入	19,728 t	19,256 t	△472 t	△2.4 %
古紙類	4,410 t	3,808 t	△603 t	△13.7 %

- ・ 総排出量は、H29 年度実績と比較して 2,783 トン (4.1%) 減少しています。  
 [収集ごみ] 実績値を見ると人口減少、ごみ減量施策の効果などから、排出量が減少傾向になっています。分別の徹底、3Rの推進等により、さらなる減量化に努めます。  
 [搬入ごみ] 事業用大規模建築物の所有者等から提出された「事業系一般廃棄物減量計画書」や、事業所への立入調査において、排出状況等を把握し、ごみの減量等を指導してまいります。

2 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画一部改定版に掲げる目標の状況

指標 (H26 年度実績値)	H29 年度 上半期実績	H30 年度 上半期実績	増 減	H32 年度 目標
1人1日あたりのごみ排出量 (1,067 g/人・日)	1,082	1,046	△36	950
焼却ごみ量 (112,128 t/年)	57,922	56,141	△1,781	95,000
埋立処分量 (7,154 t/年)	721 [1,172]	662 [ 0]	△59 [△1,172]	5,000
リサイクル率 (18.7 %)	21.7	22.6	0.9	24.0 以上

- ※ 埋立処分量の [ ] 内の数字は、仮置きする飛灰を含んでいます。
- ※ H30 年度予測は、H29 年度の年間推移と上半期の対比から算出しています。